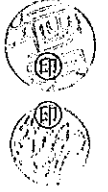


監査報告書

令和3年5月20日

鹿児島市長
下鶴 隆央 殿

監事 堀ノ内 康丈
監事 牧 紀代子



私たち監事は、令和2年4月1日から令和3年3月31日までの令和2年度の理事の職務の執行について監査を行ないました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告及びその付随明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 超勤の申請日と実施日が全て同じになっています。勤務表ができた時点で事前に申請されないのでしょうか。
- ② 『GHの入浴支援』『帰省中の様子』等、細かく打合せがされています。丁寧に利用者さんと向き合っています。
- ③ 独自の研修が行われ、職員の評価も高いようでした。
- ④ 採用時の書類の整理をしてください。正規と非正規を分けて綴った方が分かり易いと思われま（就労前の健診が一部見当たりませんでした）。
- ⑤ 事故・苦情受付上で、家族とのやり取り内容を記載した方が良いです。
- ⑥ 身体拘束の記録がありませんでした。
- ⑦ 検食簿の所見の空欄が多いです。
- ⑧ 健診のフォローアップ通知の旨を添えてください。